

令和4年度

第2回 埼玉県県央地域医療構想調整会議

議事概要

開催日時：令和4年10月28日（金）

19：00～20：15

開催形式：WEB開催

1 開会

鴻巣保健所高林副所長が進行。

2 挨拶

遠藤鴻巣保健所長が挨拶。

3 議事

仁科会長が議長となり議事を進める。

(1) 埼玉県地域保健医療計画に基づく病院整備計画について

概要について医療整備課が説明後、病院整備計画について、埼玉脳神経外科病院、こうのす共生病院、鈴木眼科の順に説明・質疑を行った。

【埼玉脳神経外科病院に対する意見・質疑】

(委員) 特に問題ないと思う。

(委員) 非常にうれしい取組である。常勤医師の確保ができるということだが、コメディカルも問題なく充足できるということによいか。

(埼玉脳神経外科病院) コメディカルは現在充足しており、すぐ増床したとしても稼働できる状況である。

(委員) 我々の圏域にとって大変ありがたい増床の計画である。我々に必要な増床だと思う。

(委員) 良いことだと思う。

(委員) 地域の命は地域で守る、自宅・転院が難しい患者を受け入れていただけるとのこと、大変心強くありがたく思う。

【こうのす共生病院に対する意見・質疑】

(委員) 非稼働病床の10床と今回の増床の6床との使い方等について、何か計

画があるか。

- (ごの姓病) 現在の非稼働病床は6床になっており、状況にあわせて稼働させていきたい。それとは別に、増床の6床でしっかりと地域包括ケア病床の患者に対応していきたい。
- (委 員) 高齢者福祉施設からみて、とてもありがたい助かることだと考えている。病院の方針、果たすべき役割を守っていただければ助かる。高齢者がこれからますます増える中で、施設の中での看取りは嘱託医の先生の協力のもと行えることである。在宅の延長線にある福祉施設での生活に、先生方の協力が加わるとより安心できる。先生方に協力いただけるよう、ベッド数も増やしていただいて、更なる強化に協力いただけると助かる。
- (委 員) 入院患者が退院する際に核家族化のような問題があつて、在宅で面倒をみられるというマンパワーが不足している事例が非常に多い。そういう点でも在宅医療等に力を入れておられるのは大変助かる。
- (委 員) たくさんの救急患者を受け入れていただいている。鴻巣において必要な病床だと思う。ぜひ頑張ってください。
- (委 員) 地域包括ケアシステムの構築、医療介護の連携などの方針をお示しいただき、大変ありがたく思う。

#### 【鈴木眼科に対する意見・質疑】

- (委 員) 非常によろしいのではないかと。近隣にも同様の施設がないということで、今までは埼玉医大だとかに集中していたようなこともあるので、非常に歓迎すべきことである。
- (委 員) 地域と患者のニーズにあわせた適切な増床計画だと思うが、2点ほどお聞きしたい。手術後の入院期間はどの程度になるのか。また、3床ということだが、うつ伏せだと少し手がかかると想像する。現在の看護師、スタッフの配置で十分か。
- (鈴木眼科) 入院期間は状況次第だが、平均して3～4日を想定している。看護師、スタッフに関しては、今までの経験上、人数的には対応できると考えている。
- (委 員) 病床が空いている場合、例えば夜間・救急等での利用も考慮しているか。
- (鈴木眼科) 救急対応は状況によって少し検討したい。人員があまりいないため、病棟（入院患者）だけ診させていただきたい。
- (委 員) 地域にとって非常に良いことではないかと思う。
- (委 員) 救急等に御協力いただければ、非常にありがたい。

( 以 上 )